

実例から学ぶ投信販売

積立投資シミュレーション 実践編

つみたてNISAをすすめたい

積立投資シミュレーション 実践編

つみたてNISAをすすめたい

- 積立投資を検討されているお客様に、「ドルコスト平均法」についてご説明し、ご納得いただいたらつみたてNISAなど優遇制度の有効性をご理解いただきますよう。

つみたてNISAをすすめたい

優遇税制実感してもらおう

- 投信NAVIでは一般口座、特定口座、NISA口座、シミュレーション口座と口座をそれぞれ登録することで同じファンドの優遇制度を利用した場合と、利用しない場合の比較シミュレーションが可能です。



積立投資シミュレーション 実践編

お客様との会話事例



アドバイザー：

「ドルコスト平均法を使えばリスクのあるファンドでも、リスクを分散しながら積立投資できるという事がわかりいただけましたでしょうか。」

お客様：「よくわかったよ。株式投信をこれから積み立てて老後に備えようと思う。」

アドバイザー：

「ちなみにつみたてNISAをご存知でしょうか？」

毎年40万円の投資額を上限として、積み立てて得た利益にかかる税金が最長20年間も非課税になるシステムなんですよ。

お客様：「非課税だとどれくらいトクするのかね。」



積立投資シミュレーション 実践編

つみたてNISAをすすめたい

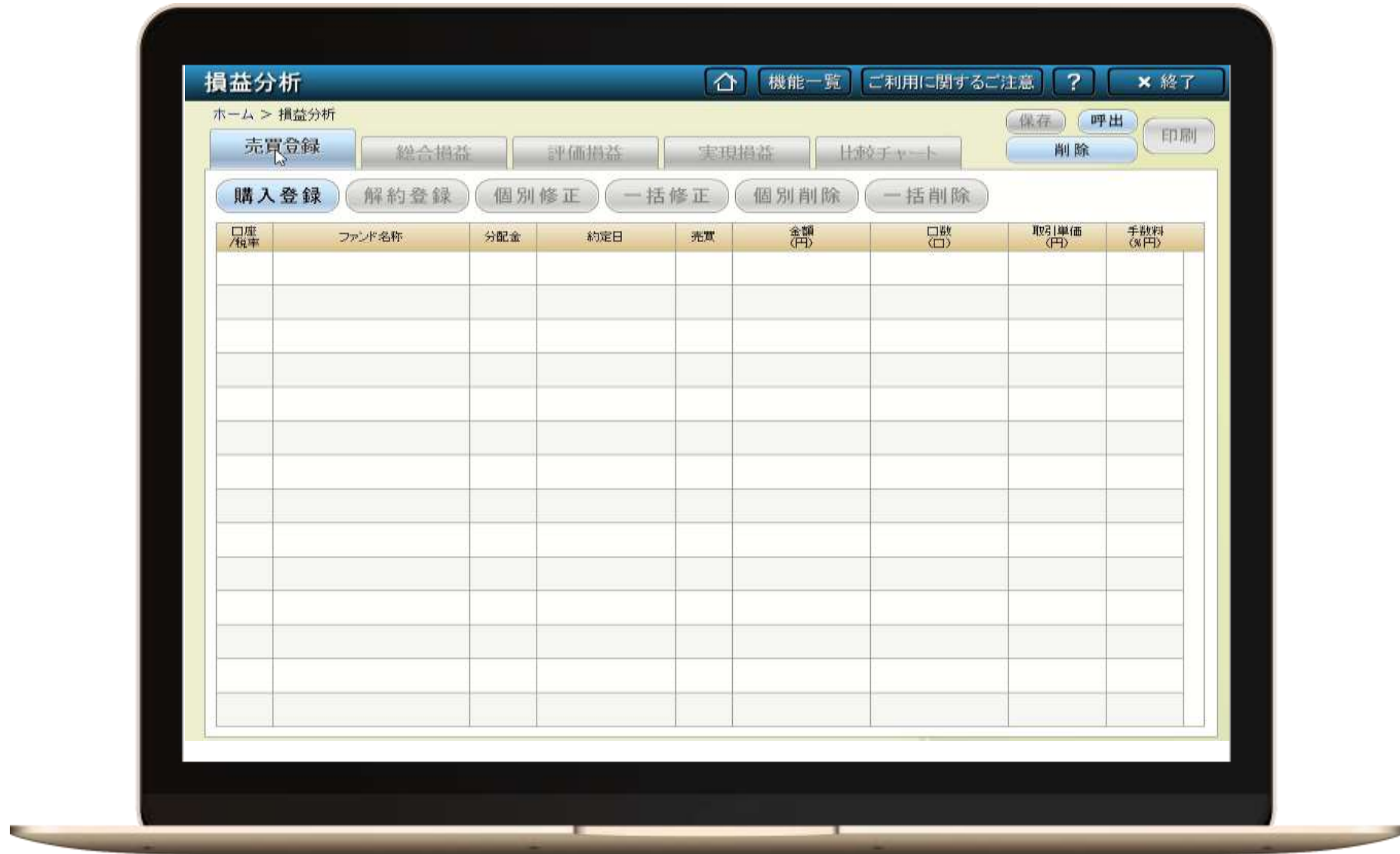
POINT

- ここでは投信NAVIの損益分析機能を使い、NISA口座と一般口座の税制面の違いが、20年後にどの程度収益に差が生じるのかを、実在のファンドを使ってシミュレーションしてみましょう。

20年間のシミュレーションをするにあたり、事前にファンド検索機能で20年以上の運用実績を持つ株式投信ファンドを選んでおきましょう。

今回は、フィデリティ・日本成長株・ファンドを月に3万円づつ20年間つみたてNISA制度を利用して積み立てた場合と一般口座で積み立てた場合を比較してみます。





NISA口座へ入力

ホーム> 損益分析> 購入登録 より

【入力項目】 ファンド名： **フィデリティ・日本成長株・ファンド**、口座： NISA口座、購入方法： 積立購入、コース： 分配金受取コース、

積立開始日： 1998年11月1日 申込金額： 毎月3万円 ※この年は11月1日は休日のため、1日と入力すると2日に自動的に変更され、実際の計算期間は2日～となります。

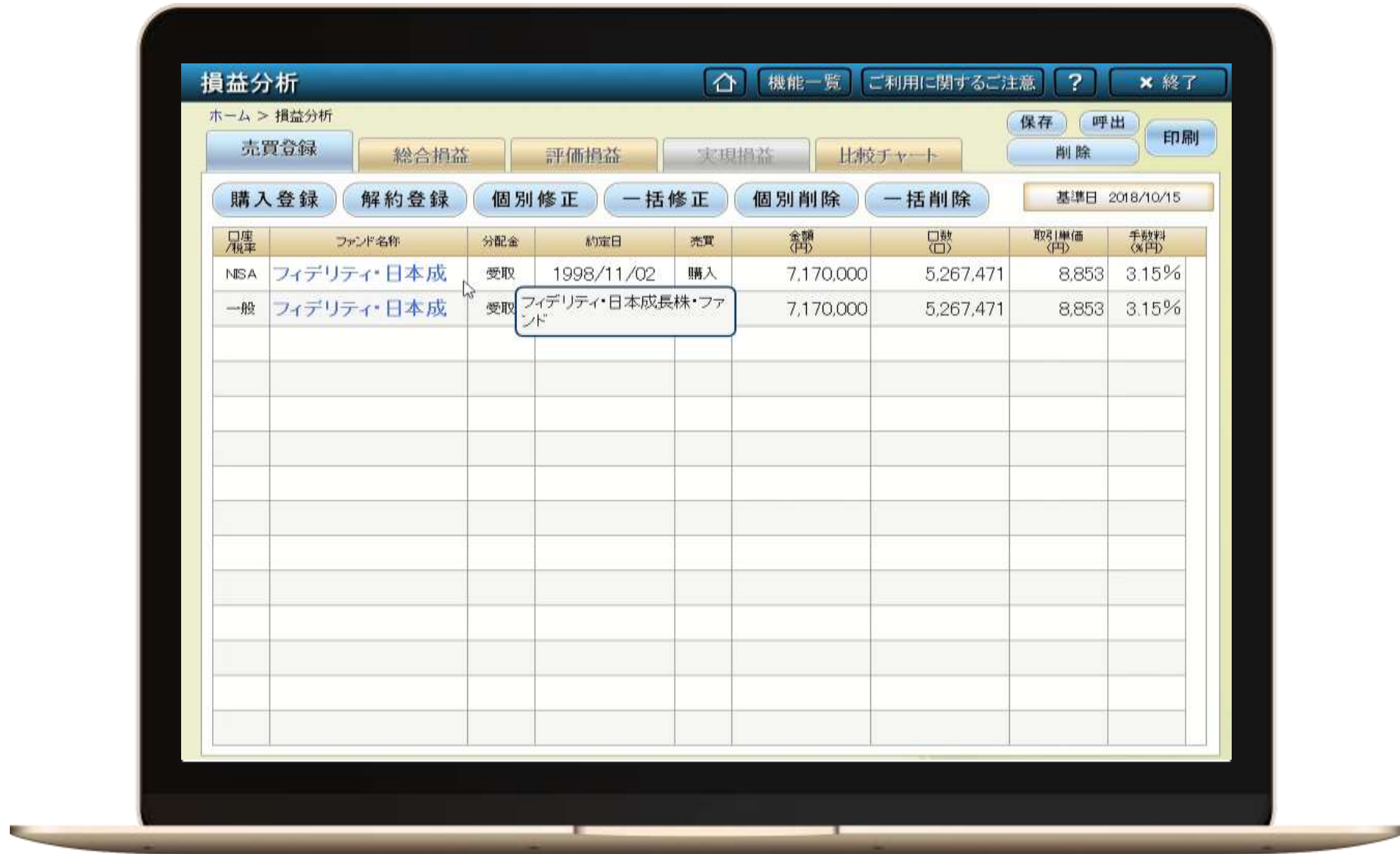


一般口座へ入力

さらに【購入登録】機能で一般口座へ登録してください ※同じファンドならば、最初の売買登録の行を選択（オレンジに反転）すれば入力の手間が省けます。

【入力項目】 ファンド名：フィデリティ・日本成長株・ファンド、口座：一般口座、購入方法：積立購入、コース：分配金受取コース、

積立開始日：1998年11月1日 申込金額：毎月3万円 ※この年は11月1日は休日のため、1日と入力すると2日に自動的に変更され、実際の計算期間は2日～となります。



解約登録

つぎに、2018年10月でつみたてNISAの最長期限の20年を迎えるので、全解約を登録し、実現損益を表示することで一般口座でかかった税金の計算結果が表示されます。

【売買登録】タブ> 解約したいファンドを選択> 解約登録> 約定日を指定> 全解約> 登録

※この期間NISA口座で運用し20年後に解約したと仮定してシュミレーションしています。実際この運用期間ではNISA制度は存在しません。

損益分析

ホーム > 損益分析

売却登録 総合損益 評価損益 **実現損益** 比較チャート

保存 呼出 印刷 削除

2018年度実現損益 << 総計

単位:円 (解約時に課税利益がかかった場合は、②解約金額および③損益欄の0内に税引き前金額を表示します。)

口座/ 税率	ファンド名	分配 金	購入日 購入単価	①実質投資金額(④-⑤)		解約日 解約単価	②投資成果(⑥+⑦)		③損益 (⑧-①)	概算 年率 [%]	保有 期間 [年]
				④購入金額	⑤元本払戻金		⑥普通分配金	⑦解約金額			
-	合計	-	-	14,340,000		-	25,106,973		10,766,973 (11,983,660)		
				14,340,000	0		0	25,106,973 (26,323,660)			
NISA	フィデリティ・日本成長 株・ファンド	受取	18/10/01	7,170,000	0	18/10/01	13,161,830	5,991,830	7.72	19.9	
			13,612	7,170,000	0	24,987	0	13,161,830			
一般	フィデリティ・日本成長 株・ファンド	受取	18/10/01	7,170,000	0	18/10/01	11,945,143	4,775,143 (5,991,830)	6.15	19.9	
			13,612	7,170,000	0	24,987	0	11,945,143 (13,161,830)			

実現損益

解約登録が完了したら、【実現損益】タブをクリックし、【詳細】を押すとNISA口座、一般口座それぞれの損益が表示されます。

20年間で投資した積み立て額は**717万円**に対し、NISA口座で受け取った利益は**599万円**となり、一般口座で受け取った利益は**477万円**となります。

その右側にはそれぞれの概算年率が表示され、**7.72%**と**6.15%**との差が生じています。



総合損益

さらに【総合損益】タブをクリックし、【損益分析】を確認すると、コスト欄に税金が**121万円**と表示されていることが確認できます。

積立投資シミュレーション 実践編

お客様との会話事例



アドバイザー：

「このようにつみたてNISAを利用すると、20年間で120万円もの差が生じるのですよ」

お客様：「うんそうだね。ではつみたてNISA口座でつみたてていくことにするよ」

アドバイザー：

「ただし、すでにNISA口座で運用されている場合は、つみたてNISAとの併用はできないので注意が必要です。」



積立投資シミュレーション 実践編

つみたてNISAをすすめたい

- 貯めてから「まとめて」投資をおすすめしますか？
それとも、「積立」で投資をおすすめしていきますか？
- 投資信託販売はストックビジネスです。積みあがる投信残高に応じて、信託報酬が見込める、つみたて投資をすすめることはアドバイザーにとっても有益です。

積み立てをすすめたい

説明責任を果たしましょう

残高に応じた報酬が受け取れる

- 確実に儲かるとは限りませんが、少なくとも変動商品を決めた金額で毎月買っていくということは、まとめて買うよりも有効であり、結果がでていることをお客様にご説明し、ご納得いただいたうえでご購入いただきましょう。

お問い合わせは 投信NAV Iサポートセンター

0120-104-529

受付時間 平日8:30~17:30

©一般社団法人 資産形成支援協会

この資料で表示されているファンド検索結果や損益分析のシミュレーション結果は日々変動しており、資料と同一の結果とならない場合がございます。また、過去の運用実績をもとにしたシミュレーション結果は将来の運用成績を示唆あるいは保証するものではありません。また、投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。